

令和7年度みやぎの青少年意見募集事業 ～報告資料～

テーマ

「自転車利用時の乗車用ヘルメット
着用促進について」



宮城県環境生活部共同参画社会推進課

○概要

テーマ	自転車利用時の乗車用ヘルメット着用促進について
担当課	地域交通政策課
テーマ説明	<p>自転車利用時の乗車用ヘルメットの着用は、法律で努力義務とされており、県内の着用率はわずかに増加していますが、全国平均を下回っている状況です。</p> <p>ヘルメットを着用していない者の致死率は着用者の約2.1倍となっているほか、自転車の交通事故負傷者は15～19歳の負傷者が最も多くなっています。</p> <p>大切な命と未来を守るため、ヘルメット着用率を増加させるにはどうしたらよいか、意見を募集しました。</p>
対象	県内の高校生
募集期間	令和7年7月3日～令和7年8月31日
回答者	39人
回答方法	WEBアンケート・紙のアンケート

○青少年の意見

自転車利用時にヘルメットを着用する人を増やすには、どのような工夫や取組が必要だと思いますか。

- ・ 事故にあった場合のリスクについて説明し、危機感を抱かせる。
- ・ ポスターの掲示や呼びかけを行う。

若い世代の人に、自転車利用時のヘルメット着用を呼びかけるには、どのような工夫や取組をすればよいと思いますか。

- ・ 学校でチラシの配布や呼びかけを行う。
- ・ ヘルメットを着用しないことのリスクについて周知する。

○いただいた意見の活用

ホームページの改正

自転車の安全利用に関するページについて、ヘルメットを着用しないリスクをより強調する内容に更新します。

また、全体的に簡潔で分かりやすい表現に書き換えます。

ポスターとチラシの作成・内容変更など

自転車乗車中の交通事故について、致死率の数値などを更新し、外国語版「自転車安全利用五則」のリンクを作成します。

また、ポスターとチラシを、高校をはじめとした教育機関などへ配布します。